

2026 年 Honda モータースポーツ活動計画

Honda の 2026 年モータースポーツ活動計画についてお知らせします。

Honda は、創業者である本田宗一郎が技術で世界一になることを目指して 1959 年のマン島 TT レースに初参戦して以来、世界中のさまざまな二輪・四輪レースに参戦し続けています。多くの先人達が世界を舞台に戦い、何度難題にぶつかってもあきらめずに「挑戦」を続けることでそれを克服し、勝利を積み重ねてきました。モータースポーツは、技術を磨きエンジニアを育てる最高の舞台です。2026 年も、この「挑戦」の志をさらに強くし、共に戦うライダー・ドライバー・関係者の皆様とモータースポーツ活動を展開していきます。

【二輪モータースポーツ活動】

2025 年は、鈴鹿 8 時間耐久ロードレースでは「Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)」が 4 連覇を達成し、高橋巧 (たかはしたくみ) 選手が自身のもつ最多勝記録を 7 勝に更新しました。また FIM^{※1} トライアル世界選手権、FIM X-Trial 世界選手権ともにトニー・ボウ選手がチャンピオンを獲得し、両シリーズあわせて 38 連覇という大偉業を成し遂げました。さらに、米国で開催されているスーパーモトクロス世界選手権の 250cc クラスにおいて、日本人として初めて下田丈 (しもだじょう) 選手がチャンピオンを獲得しました。

2026 年は、FIM ロードレース世界選手権 MotoGP クラスでは、ワークスチーム「Honda HRC Castrol (ホンダ・エイチアールシー・カストロール)」は、ジョアン・ミル選手、ルカ・マリニ選手の 2 台体制を継続します。サテライトチームは、2025 年と同様に Honda LCR (ホンダ・エルシーアール) から、昨年母国グランプリであるフランス GP で優勝を飾ったヨハン・ザルコ選手に加え、昨年の Moto2 クラスチャンピオンのディオゴ・モレイラ選手が新たに参戦します。

FIM スーパーバイク世界選手権 (WSBK) では、ワークスチーム Honda HRC はライダーの顔ぶれを一新するとともに、開発ライダーには WSBK でチャンピオンを 6 度獲得しているジョナサン・レイを迎え、「CBR1000RR-R FIREBLADE SP」の戦闘力をさらに向上させていきます。

FIM モトクロス世界選手権では、最高峰クラスの MXGP クラスにおいて、これまでの 2 台体制から 3 台体制にチーム力を強化するとともに「CRF450R」の戦闘力のさらなる向上によって、MXGP クラスで 4 年ぶりのチャンピオン奪還を目指します。

FIM トライアル世界選手権 TrialGP クラス、FIM X-Trial 世界選手権では、トニー・ボウ選手が自身の記録更新となる両シリーズ合計 40 連覇に挑みます。また現在、サウジアラビアで開催中のダカールラリー2026 でもタイトル奪還に向けて奮闘しています。

Honda は、2040 年代に全ての二輪製品でのカーボンニュートラルを実現することを目指し、ICE (内燃機関) の進化にも継続的に取り組みながら、今後の環境戦略の主軸として二輪車の電動化に取り組んでいます。モータースポーツにおいても引き続き電動化を続けていきます。昨年 FIM トライアル世界選手権 Trial2 クラスに参戦しランキング 2 位を獲得した「RTL ELECTRIC」は、戦いの舞台をトライアル世界選手権最高峰クラスの TrialGP クラスに移し参戦します。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme (国際モーターサイクリズム連盟) の略称

【四輪モータースポーツ活動】

2026 年、Honda は Aston Martin Aramco Formula One Team (アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラワン・チーム、以下 AMAF1) に、ワークスパートナーとしてパワーユニット (以下、PU) を供給することで、FIA^{※2} フォーミュラ・ワン世界選手権 (以下、F1) に新たに参戦します。Honda のモータースポーツ活動を担う株式会社ホンダ・レーシング (以下、HRC) が、F1 PU の開発、製造、運用といったレース参戦の中核を担当します。

2025 年は、Oracle Red Bull Racing (オラクル・レッドブル・レーシング) および Visa Cash App Racing Bulls (ビザ・キャッシュアップ・レーシング・ブルズ) に対し、チームパートナーとして技術支援およびマーケティング協力を行う最終年となりました。最終戦・第 24 戦アブダビ GP で、マックス・フェルスタッペン選手がポール・トゥ・ウインを達成し、8 年にわたるパートナーシップを締めくくるにふさわしい結果となりました。2026 年からは新たなパートナーである AMAF1 とともに、頂点を目指して全力で戦います。

国内レースでは、2025 年の全日本スーパーフォーミュラ選手権^{※3}で、TEAM MUGEN (チーム・ムゲン) の岩佐歩夢 (いわさあゆむ) 選手がドライバーズチャンピオンを獲得しました。また、牧野任祐 (まきのただすけ) 選手と太田格之進 (おおたかくのしん) 選手が所属する DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング) がチームチャンピオンを獲得しました。2026 年シーズンもダブルタイトル獲得を目標に戦っていきます。

SUPER GT シリーズ^{※4}においては、STANLEY TEAM KUNIMITSU (スタンレー・チーム・クニミツ) の山本尚貴 (やまもとなおき) 選手／牧野任祐選手組が年間 2 位の成績を収めました。2026 年は、PRELUDE をベースとした「Honda HRC PRELUDE-GT (ホンダ・エイチアールシー・プレリウド・ジーティー)」を新たに投入します。

運営体制面では、Honda HRC PRELUDE-GT を走らせる 5 つのチームを横断でサポートするテクニカルディレクターを新たに配置することで、5 台の Honda HRC PRELUDE-GT を駆るチームやドライバーとの連携を深め、HRC Sakura 開発部門へのフィードバックの質向上を図ります。また、8 号車のチーム名を新たに「Team HRC ARTA MUGEN」とし、HRC から専任のエンジニアを複数名配置するなど、HRC の関与を深めていきます。これらの取り組みのもと、チャンピオン奪還を目指します。

また、2025 年に全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権でチャンピオンを獲得した野村勇斗 (のむらゆうと) 選手が新たに San-Ei Gen with B-Max (サンエイゲン・ウィズ・ビーマックス) からスーパーフォーミュラへ、Astemo REAL RACING (アステモ・リアル・レーシング) から SUPER GT GT500 クラスに参戦します。

北米においては、インディカー・シリーズに参戦する 5 チームに Honda Racing Corporation USA (ホンダ・レーシング・コーポレーション・ユーエスエー、以下、HRC US) から PU を供給します。また、IMSA^{※5} ウェザーテック・スポーツカー選手権の最高峰 GTP クラスには HRC US が供給する Acura (アキュラ) ブランドのマシン「ARX-06」2 台が参戦します。昨年に引き続き、Meyer Shank Racing (メイヤー・シャंक・レーシング) とのパートナーシップにおいて 2 台体制のうち 93 号車は、チームオペレーションの主要部分を HRC US のエンジニアが担い、人材育成と技術開発の両方をさらに加速させます。さらに、昨年より IMSA に挑戦する太田格之進選手が、今年もデイトナ 24 時間レースを含む 2 大会に同チームより参戦します。

※2 FIA とは、Fédération Internationale de l'Automobile (国際自動車連盟) の略称

※3 統括・運営：株式会社日本レースプロモーション

※4 統括・運営：株式会社 GT アソシエーション

※5 IMSA とは、International Motor Sports Association (国際モータースポーツ協会) の略称

■ 参戦体制概要

2026 年 1 月 9 日発表時点

<以下、敬称略>

《二輪参戦体制概要》

《世界選手権》

◆ FIM ロードレース世界選手権（MotoGP）

<MotoGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Honda HRC Castrol (ホンダ・エイチアールシー・カストロール)	RC213V	10	Luca Marini (ルカ・マリーニ)	28	イタリア	MotoGP 13 位
		36	Joan Mir (ジョアン・ミル)	28	スペイン	MotoGP 15 位
CASTROL Honda LCR (カストロール・ホンダ・エルシーアール)		5	Johann Zarco (ヨハン・ザルコ)	35	フランス	MotoGP 12 位
Pro Honda LCR (プロホンダ・エルシーアール)		11	Diogo Moreira (ディオゴ・モレイラ)	21	ブラジル	Moto2 チャンピオン

◆ FIM スーパーバイク世界選手権（WSBK）

<WSBK>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	35	Somkiat Chantira (ソムキアット・チャントラ)	27	タイ	MotoGP 26 位
		96	Jake Dixon (ジェイク・ディクソン)	29	英国	Moto2 5 位

<WSSP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Honda RACING World Supersport (ホンダ・レーシング・ワールドスーパースポーツ)	CBR600RR	6	Corentin Perolari (コロンタン・ペロラーリ)	27	フランス	WSSP 13 位
		22	Ana Carrasco (アナ・カラスコ)	28	スペイン	WSSP 参戦

◆FIM 世界耐久選手権（EWC）

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
TATI TEAM AVA6 RACING (タティ・チーム・ アヴァ 6・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	4	Hugo Clere (ヒューゴ・クレール)	31	フランス	EWC 11 位
			Mike Di Meglio (マイク・ディ・メリオ)	37	フランス	
			TBA			
F.C.C. TSR Honda France (エフシーシー・ディーエスアール・ ホンダ・フランス)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	5	Alan Techer (アラン・テシェ)	31	フランス	EWC 6 位
			Corentin Perolari (コロンタン・ペロラーリ)	27	フランス	
			John McPhee (ジョン・マクフィー)	31	英国	
MANA-AU COMPETITION (マナオ・コンペティション)	CBR1000RR-R FIREBLADE	53	Max Schmidt (マックス・シュミット)	22	ドイツ	EWC 8 位
			Kilian Aebi (キリアン・アエビ)	21	スイス	
			TBA			

◆FIM モトクロス世界選手権（MXGP）

<MXGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績	
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	CRF450R	16	Tom Vialle (トム・ヴィアル)	25	フランス	AMA 250SX East チャンピオン	
		70	Ruben Fernandez (ルーベン・フェルナンデス)	26	スペイン	MXGP 4 位	
		84	Jeffrey Herlings (ジェフリー・ハーリングス)	31	オランダ	MXGP 5 位	
TEAM HONDA SR MOTOBLOUZ (チームホンダ・エスアール・ モトブロウズ)		9	Thibault Benistant (テバウト・ベニスタント)	23	フランス	MX2 7 位	
		24	Kevin Horgmo (ケビン・ホルモ)	25	ベルギー	MXGP 18 位	

<MX2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	CRF250R	18	Valerio Lata (バレリオ・ラタ)	20	イタリア	MX2 9 位
MADDII RACING TEAM (マディ・レーシング・チーム)		28	Marc-Antoine Rossi (マルク・アントワヌ・ロッシ)	19	フランス	MX2 46 位

◆FIM トライアル世界選手権（TrialGP）

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Repsol Honda HRC (レプソル・ホンダ・ エイチアールシー)	Montesa COTA 4RT	1	Toni Bou (トニー・ボウ)	39	スペイン	TrialGP チャンピオン
		38	Gabriel Marcelli (ガブリエル・マルセリ)	25	スペイン	TrialGP 3 位
Honda Montesa (ホンダ・モンテッサ)	RTL ELECTRIC	56	Miquel Gelabert (ミケール・ジェラベルト)	27	スペイン	Trial2 2 位

◆FIM X-Trial 世界選手権（X-Trial）

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Repsol Honda HRC (レプソル・ホンダ・ エイチアールシー)	Montesa COTA 4RT	1	Toni Bou (トニー・ボウ)	39	スペイン	X-Trial チャンピオン
		38	Gabriel Marcelli (ガブリエル・マルセリ)	25	スペイン	X-Trial 3 位

◆FIM 世界ラリーレイド選手権（ダカールラリー2026）

<RallyGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Monster Energy Honda HRC (モンスターエナジー・ ホンダ・エイチアールシー)	CRF450 RALLY	9	Ricky Brabec (リッキー・ブラベック)	34	米国	ダカールラリー 総合 5 位
		10	Skyler Howes (スカイラー・ハウズ)	33	米国	ダカールラリー 総合 6 位
		42	Adrien Van Beveren (エイドリアン・ヴァン・ベバレン)	35	フランス	ダカールラリー 総合 3 位
		68	Tosha Schareina (トーシャ・シャレイナ)	30	スペイン	ダカールラリー 総合 2 位

<Rally2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Monster Energy Honda HRC (モンスターエナジー・ ホンダ・エイチアールシー)	CRF450R X Rally	84	Martim Ventura (マルティム・ベントウラ)	25	ポルトガル	ラリーレイド Rally2 11 位
		85	Preston Campbell (プレストン・キャンベル)	26	米国	ラリーレイド Rally2 9 位

《日本》

◆MFJ 全日本ロードレース選手権（JRR）

<JSB1000>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Astemo Pro Honda SI Racing (アステモ・プロホンダ・ エスアイ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	TBA	野左根 航汰 (ノザネ・コウタ)	30	日本 (千葉県)	JSB1000 4 位
Team SAKURAI HONDA (チーム・サクライホンダ)		TBA	伊藤 和輝 (イトウ・カズキ)	25	日本 (東京都)	JSB1000 5 位
Team ATJ (チーム・エーティージェイ)		TBA	岩田 悟 (イワタ・サトル)	39	日本 (東京都)	JSB1000 6 位
		TBA	鈴木 光来 (スズキ・コウキ)	25	日本 (神奈川県)	JSB1000 10 位
DUNLOP Racing Team with YAHAGI (ダンロップ・レーシング・ チーム・ウィズ・ヤハギ)		TBA	長島 哲太 (ナガシマ・テツタ)	33	日本 (神奈川県)	JSB1000 8 位
SDG Team HARC-PRO. Honda (エスディージー・チーム・ ハルレク・プロ・ホンダ)		TBA	國井 勇輝 (クニイ・ユウキ)	22	日本 (東京都)	FIM Moto2® 30 位

※ FIM MotoGP 世界ロードレース選手権 Moto2 クラス

<ST1000>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Astemo Pro Honda SI Racing (アステモ・プロホンダ・ エスアイ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	TBA	羽田 太河 (ハダ・タイガ)	27	日本 (山梨県)	ST1000 チャンピオン
RT : ジャパン・エム・オート (アールディー・ジャパン エム・オート)		TBA	荒川 晃大 (アラカワ・コウタ)	23	日本 (東京都)	ST1000 5 位
TOHO Racing (トーホー・レーシング)		TBA	亀井 雄大 (カメイ・ユウダイ)	29	日本 (神奈川県)	ST1000 2 位
MOTO BUM HONDA (モトバム・ホンダ)		TBA	國峰 啄磨 (クニミネ・タクマ)	27	日本 (群馬県)	ST1000 3 位
SDG Team HARC-PRO. Honda (エスディージー・チーム・ ハレク・プロ・ホンダ)		TBA	作本 輝介 (サクモト・コウスケ)	29	日本 (鹿児島県)	ST1000 15 位
		TBA	豊島 怜 (トシマ・レイ)	26	日本 (東京都)	ST1000 7 位
		TBA	名越 哲平 (ナゴエ・テツペイ)	28	日本 (東京都)	JSB1000 19 位

<ST600>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
日本郵便 docomo business Honda (ニッポンユウビン・ドコモ・ビジネス・ホンダ)	CBR600RR	TBA	小山 知良 (コヤマ・トモヨシ)	42	日本 (神奈川県)	ST600 4 位
TN45 Racing Team (ティーエヌフォーティーファイブ・レーシング・チーム)		TBA	藤田 哲弥 (フジタ・テツヤ)	22	日本 (群馬県)	ST600 6 位
SDG Team HARC-PRO. Honda (エスディーシー・チーム・ハルレク・プロ・ホンダ)		TBA	小田喜 阿門 (オダキ・アモン)	18	日本 (東京都)	ST600 10 位
		TBA	青田 魁 (アオタ・カイ)	20	日本 (埼玉県)	ST600 13 位
Astemo Pro Honda SI Racing (アステモ・プロホンダ・エスアイ・レーシング)		TBA	濱田 寛太 (ハマダ・カンタ)	21	日本 (埼玉県)	ST600 15 位
		TBA	中谷 健心 (ナカタニ・ケンシン)	18	日本 (東京都)	J-GP3 2 位
MOTO BUM HONDA (モトバム・ホンダ)		TBA	徳田 翔 (トクダ・ショウ)	16	日本 (福島県)	ST600 21 位
		TBA	松本 康雅 (マツモト・コウガ)	21	日本 (埼玉県)	ST600 22 位
		TBA	楠 留維 (クス・ルイ)	20	日本 (三重県)	ST600 参戦
		TBA	松島 璃空 (マツシマ・リク)	19	日本 (埼玉県)	J-GP3 7 位

◆MFJ 全日本モトクロス選手権 (JMX)

<IA1>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Honda Dream Racing Bells (ホンダドリーム・レーシング・ベルズ)	CRF450R	1	大倉 由揮 (オオクラ・ユウキ)	27	日本 (大阪府)	IA1 チャンピオン
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)		4	大塚 豪太 (オオツカ・ゴウタ)	29	日本 (栃木県)	IA1 4 位
		70	根岸 瑞生 (ネギシ・ミズキ)	27	日本 (埼玉県)	IA2 29 位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		9	小方 誠 (オガタ・マコト)	40	日本 (神奈川県)	IA1 9 位
TEAM KOHSAKA (チーム・コウサカ)		14	道脇 白龍 (ミチヅキ・ハクリュウ)	27	日本 (愛知県)	IA1 14 位
Bells Racing (ベルズ・レーシング)		47	池田 凌 (イケダ・リョウ)	26	日本 (北海道)	IA2 6 位

<IA2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Bells Racing (ベルズ・レーシング)	CRF250R	45	藤井 武 (フジイ・タケル)	18	日本 (愛知県)	IA2 24 位
		46	吉田 琉雲 (ヨシダ・ルクモ)	17	日本 (奈良県)	IA2 5 位
Honda Dream Racing (ホンダドリーム・レーシング)		51	柳瀬 大河 (ヤナセ・タイガ)	20	日本 (愛知県)	IA2 10 位
Team ITOMO (チーム・イトモ)		56	森 優介 (モリ・ユウスケ)	27	日本 (熊本県)	IA2 15 位
		81	箕浦 来輝 (ミノウラ・ライキ)	17	日本 (愛知県)	IA2 40 位
T.E.SPORT (ディー・イー・スポーツ)		61	山崎 巧也 (ヤマザキ・タクヤ)	18	日本 (埼玉県)	IA2 20 位
		05	外間 大詩 (ホカマ・タイシ)	17	日本 (山梨県)	IBOPEN 5 位

<レディース (LMX) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)	CRF150R II	1	川井 麻央 (カワイ・マナカ)	23	日本 (埼玉県)	LMX チャンピオン
Team ITOMO (チーム・イトモ)		2	箕浦 未夢 (ミノウラ・ミュウ)	19	日本 (愛知県)	LMX 2 位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		5	楠本 菜月 (クスモト・ナツキ)	22	日本 (大阪府)	LMX 5 位

◆MFJ 全日本トライアル選手権 (JTR)

<IA スーパー (IAS) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
TEAM MITANI Honda (チーム・ミタニ・ホンダ)	RTL301RR	7	武田 呼人 (タケダ・ヨヒト)	24	日本 (三重県)	IAS 7 位
		8	小川 友幸 (オガワ・トモユキ)	49	日本 (三重県)	IAS 8 位

《アジア》

◆FIM アジアロードレース選手権 (ARRC)

<ASB1000 クラス>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Idemitsu Honda Racing Malaysia (イデミツ・ホンダ・レーシング・マレーシア)	CBR1000RR-R FIREBLADE	20	Azroy Hakeem Anuar (アズロイ・ハキーム・アヌア)	25	マレーシア	ASB1000 5 位
		21	Md Zaqhwan Bin Zaidi (モハメド・ザクワン・ビン・ザイディ)	30	マレーシア	ASB1000 4 位
SDG HARC-PRO. Honda Philippines (エスディージー・ハルク・プロ・ホンダ・フィリピン)		39	阿部 恵斗 (アベ・ケイト)	22	日本 (東京都)	ASB1000 3 位
Honda Racing Thailand (ホンダ・レーシング・タイランド)		41	Nakarin Atiratphuvapat (ナカリン・アティラットプワパット)	29	タイ	ASB1000 2 位
Astra Honda Racing Team (アストラ・ホンダ・レーシング・チーム)		TBA	TBA			

◆AMA スーパークロス選手権

<450SX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・プログレッシブ)	CRF450RWE	18	Jett Lawrence (ジェット・ローレンス)	22	オーストラリア	450SX 18 位
		96	Hunter Lawrence (ハンター・ローレンス)	26	オーストラリア	450SX 21 位

<250SX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF250RWE	29	Chance Hymas (チャンス・ハイマス)	20	米国	250SX East 6 位
		30	下田 丈 (シモダ・ジョウ)	23	日本 (三重県)	250SX West 4 位

◆AMA プロモトクロス選手権

<450 クラス>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF450RWE	18	Jett Lawrence (ジェット・ローレンス)	22	オースト ラリア	450 クラス チャンピオン
		96	Hunter Lawrence (ハンター・ローレンス)	26	オースト ラリア	450 クラス 2 位

<250 クラス>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF250RWE	29	Chance Hymas (チャンス・ハイマス)	20	米国	250 クラス 19 位
		30	下田 丈 (シモダ・ジョウ)	23	日本 (三重県)	250 クラス 2 位

《四輪参戦体制概要》《世界選手権》

＜FIA フォーミュラ・ワン世界選手権（F1）＞

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025年戦績
Aston Martin Aramco Formula One Team (アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラワン・チーム)	AMR26	14	Fernando Alonso (フェルナンド・アロンソ)	44	スペイン	F1 10 位
		18	Lance Stroll (ランス・ストロール)	27	カナダ	F1 16 位

《日本》

◆全日本スーパーフォーミュラ選手権（SF）

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2025年戦績
TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	1	岩佐 歩夢 (イワサ・アユム)	24	日本 (大阪府)	SF チャンピオン
	16	野尻 智紀 (ノジリ・トモキ)	36	日本 (茨城県)	SF 5 位
DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	5	牧野 任祐 (マキノ・タダスケ)	28	日本 (大阪府)	SF 4 位
	6	太田 格之進 (オオタ・カクノシン)	26	日本 (京都府)	SF 3 位
HAZAMA ANDO Triple Tree Racing (ハザマ・アンドウ・トリプルツリー・レーシング)	10	JUJU (ジュジュ)	19	日本 (東京都)	SF 出場
ThreeBond Racing (スリーボンド・レーシング)	12	小出 峻 (コイデ・シュン)	26	日本 (大阪府)	SF 16 位
DELIGHTWORKS RACING (ディライトワークス・レーシング)	22	松下 信治 (マツシタ・ノブハル)	32	日本 (埼玉県)	GT500 9 位
San-Ei Gen with B-Max (サンエイゲン・ウィズ・ビーマックス)	50	野村 勇斗 (ノムラ・ユウト)	20	日本 (愛知県)	SFL チャンピオン
PONOS NAKAJIMA RACING (ポノス・ナカジマレーシング)	64	佐藤 蓮 (サトウ・レン)	24	日本 (神奈川県)	SF 7 位
	65	イゴール・オオムラ・フラガ	27	ブラジル	SF 6 位

◆SUPER GT <GT500 クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
Team HRC ARTA MUGEN (チーム・エイチアールシー・ エアールティーエー・ムゲン)	8	太田 格之進 (オオタ・カクノシン)	26	日本 (京都府)	SF 3 位
		大津 弘樹 (オオツ・ヒロキ)	31	日本 (埼玉県)	GT500 8 位
ARTA MUGEN (エアールティーエー・ムゲン)	16	野尻 智紀 (ノジリ・トモキ)	36	日本 (茨城県)	GT500 9 位
		佐藤 蓮 (サトウ・レン)	24	日本 (神奈川県)	GT500 8 位
Astemo REAL RACING (アステモ・リアル・レーシング)	17	塚越 広大 (ツカコシ・コウダイ)	39	日本 (栃木県)	GT500 11 位
		野村 勇斗 (ノムラ・ユウト)	20	日本 (愛知県)	GT300 11 位
Modulo Nakajima Racing (モデュール・ナカジマレーシング)	64	大草 りき (オオクサ・リキ)	25	日本 (神奈川県)	GT500 13 位
		イゴール・オオムラ・フラガ	27	ブラジル	GT300 18 位
STANLEY TEAM KUNIMITSU (スタンレー・チーム・クニミツ)	100	山本 尚貴 (ヤマモト・ナオキ)	37	日本 (栃木県)	GT500 2 位
		牧野 任祐 (マキノ・タダスケ)	28	日本 (大阪府)	GT500 2 位

◆スーパー耐久シリーズ <ST-Q クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
Team HRC	TBA	TBA			

《北米》

◆インディカー・シリーズ

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
Chip Ganassi Racing (チップ・ガナッシ・レーシング)	8	Kyffin Simpson (キフィン・シンプソン)	21	バルバドス	インディカー 17 位
	9	Scott Dixon (スコット・ディクソン)	45	ニュージー ランド	インディカー 3 位
	10	Alex Palou (アレックス・パロウ)	28	スペイン	インディカー チャンピオン
Andretti Global (アンドレッティ・グローバル)	26	Will Power (ウィル・パワー)	44	オーストラリア	インディカー 9 位
	27	Kyle Kirkwood (カイル・カークウッド)	27	米国	インディカー 4 位
	28	Marcus Ericsson (マーカス・エリクソン)	35	スウェーデン	インディカー 20 位
Meyer Shank Racing (メイヤー・シャンク・レーシング)	60	Felix Rosenqvist (フェリックス・ ローゼンクヴィスト)	34	スウェーデン	インディカー 6 位
	66	Marcus Armstrong (マーカス・アームストロング)	25	ニュージー ランド	インディカー 8 位
Rahal Letterman Lanigan Racing (レイホール・レターマン・ ラニガン・レーシング)	15	Graham Rahal (グレアム・レイホール)	37	米国	インディカー 19 位
	45	Louis Foster (ルイ・フォスター)	22	英国	インディカー 23 位
	47	Mick Schumacher (ミック・シューマッハ)	26	ドイツ	WEC 16 位
Dale Coyne Racing (デイル・コイン・レーシング)	18	Dennis Hauger (デニス・ハウガー)	22	ノルウェー	INDY NXT チャンピオン
	51	TBA			
TBA	TBA	佐藤 琢磨 (サトウ・タクマ)	48	日本 (東京都)	Indy500 9 位

◆IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
Acura Meyer Shank Racing with Curb Agajanian (アキュラ・メイヤー・シャंक・レーシング・ ウィズ・カーブ・アガジャニアン)	60	Colin Braun (コリン・ブラウン)	37	米国	IMSA GTP 7 位
		Tom Blomqvist (トム・ブロンクヴィスト)	32	英国	IMSA GTP 7 位
		AJ Allmendinger [※] (エー・ジェー・ アルメンディンガー)	44	米国	NASCAR Cup Series 26 位
		Scott Dixon [※] (スコット・ディクソン)	45	ニュージ- ランド	インディカー 3 位
	93	Nick Yelloly (ニック・イエロリー)	35	英国	IMSA GTP 5 位
		Renger van der Zande (レンガー・ファン・ デル・ザンデ)	39	オランダ	IMSA GTP 5 位
		Alex Palou [※] (アレックス・パロウ)	28	スペイン	インディカー チャンピオン
		太田 格之進 [※] (オオタ・カクノシン)	26	日本 (京都府)	SF 3 位

※ 6 時間以上のレースに出場するエンデュランス・ドライバー

《二輪ライダー・四輪ドライバー育成》

「モータースポーツで世界に通用する選手を育成する」ことを目的として、1992 年に二輪の「鈴鹿サーキット・レーシングスクール ジュニア」を設立。1993 年に「鈴鹿サーキット・レーシングスクール カート (SRS-Kart)」、1995 年には「鈴鹿サーキット・レーシングスクール フォーミュラ (SRS-Formula)」を開校し、二輪・四輪ともに世界のトップカテゴリーで活躍できるライダー・ドライバーの育成に取り組んできました。その結果、これまでに数多くの卒業生が国内外の二輪・四輪それぞれのカテゴリーで活躍しています。また、2022 年より HRC が従来以上にライダー・ドライバー育成へ意思を入れ、名称を「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿（以下、HRS）」に変更。国内外で活躍するライダー、ドライバーを講師に迎えて運営しています。

二輪においては、トップカテゴリーを目指した選手育成システムとして、2026 年も引き続き MotoGP の Moto2・Moto3 クラスに参戦する Honda Team Asia（ホンダ・チーム・アジア）の活動を継続するとともに、若手育成のプログラムとして Idemitsu Moto4 Asia Cup（イデミツ・モトフォー・アジア・カップ）を活用し、世界で活躍できるライダーのさらなる発掘・育成に取り組めます。

四輪においては、HRS の次のステップとして、Honda のドライバー育成プログラム「ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト (HFDP)」を展開し、欧州のジュニアフォーミュラカテゴリーや日本の FIA-F4、全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権などへの挑戦の場を提供し、選手の成長とステップアップのための環境を整えています。

2025 年、フォーミュラ・リージョナル・ヨーロピアン・チャンピオンシップ (FRECA) とフォーミュラ・リージョナル・ミドルイースト・チャンピオンシップ (FRMEC) で活躍した加藤大翔（かとうたいと）選手は、2026 年、FRMEC から名称変更したフォーミュラ・リージョナル・ミドルイースト・トロフィー (FRME) に参戦しつつ、FIA-F3 にステップアップします。また、HRS のスカラシップを獲得した土橋皇太（つちはしこうた）選手がフランス F4 選手権へ、2025 年の FIA-F4 選手権（日本）で総合 4 位の成績を収めた新原光太郎（しんばらこうたろう）選手は全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権に参戦。FIA-F4 選手権（日本）には 2 年目となる百瀬翔（ももせしょう）選手と、HRS を卒業した黒沢和真（くろさわかずま）選手が新たに参戦します。

◆FIM ロードレース世界選手権（MotoGP）

<Moto2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
IDEMITSU Honda Team Asia (イデミツ・ホンダ・ チーム・アジア)	KALEX	64	Mario Aji (マリオ・アジ)	21	インドネシア	Moto2 26 位
		72	古里 太陽 (フルサト・タイヨウ)	20	日本 (鹿児島県)	Moto3 8 位

<Moto3>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2025 年戦績
Honda Team Asia (ホンダ・チーム・アジア)	NSF250RW	9	Vada Pratama (ヴェダ・プラタマ)	17※	インドネシア	Rookies Cup 2 位
		32	三谷 然 (ミタニ・ゼン)	18	日本 (茨城県)	Rookies Cup 7 位

※ Rookies Cup でのランキング 3 位以上獲得による特別昇格

◆FIA-F3

◆フォーミュラ・リージョナル・ミドルイースト・トロフィー（FRME）

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
ART Grand Prix (エアールティー・グランプリ)	加藤 大翔 (カトウ・タイト)	18	日本 (三重県)	FRMEC 12 位 FRECA 7 位

◆フランス F4 選手権

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
—	土橋 皇太 (ツチハシ・コウタ)	18	日本 (兵庫県)	HRS スカラシップ 獲得

◆全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権（SFL）

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
HFDP with B-MAX RACING (エイチエフディーピー ウィズ ビーマックス・レーシング チーム)	新原 光太郎 (シンバラ・コウタロウ)	21	日本 (兵庫県)	FIA-F4 (日本) 4 位

◆FIA-F4 選手権（日本）

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2025 年戦績
HFDP with B-MAX RACING (エイチエフディーピー ウィズ ビーマックス・レーシング)	百瀬 翔 (モモセ・ショウ)	18	日本 (岐阜県)	FIA-F4 (日本) 6 位
	黒沢 和真 (クロサワ・カズマ)	18	日本 (長野県)	HRS 卒業

■モータースポーツ普及活動

Honda は、モータースポーツの普及にも積極的に取り組んでいます。モータースポーツ初心者でも気軽に楽しめるイベントを開催するなど、幅広い層の皆様にモータースポーツの魅力を伝えることを目的としたさまざまな活動を行っています。

<株式会社ホンダ・レーシング（HRC）二輪ワンメイクレースシリーズ>

HRC によるワンメイクレースは、モータースポーツを楽しむカテゴリーと将来の MotoGP ライダー育成を目的としたカテゴリーに分かれ、日本全国約 30 カ所のサーキットで開催されています。

市販車両を使用した「HRC GROM Cup」、「CBR250R Dream Cup」、「CBR250RR Dream Cup」に加え、HRC の市販レーサーを使用したミニバイククラスの「NSF100 HRC トロフィー」や、将来の MotoGP ライダーを育成するための「HRC NSF250R Challenge」も開催しています。

これらの HRC ワンメイクレースシリーズは、全国各地のサーキットで開催され、一定の条件を満たした参加者を対象に全国大会の実施や、育成クラスへのステップアップ支援制度など、参加者がレースを楽しんだり、夢を実現したりするプログラムです。

<Honda エコ マイレージ チャレンジ 2026>

Honda は、創造力と自由な発想、そして技術を結集した手作りのマシンを用いて、1L のガソリンで何 km 走行できるかを競う「Honda エコ マイレージ チャレンジ」を 1981 年から開催しています。2026 年大会も、国内 3 か所での地区大会および全国大会の開催を予定しています。

本大会は、次世代を担う若者の技術力育成と環境意識の向上を目的とした取り組みであり、Honda が掲げる 2050 年カーボンニュートラル実現に向けた活動の一環として進化を続けています。2026 年大会からは公式燃料をカーボンニュートラル燃料へ切り替えるとともに、全国大会では新たに「電動二輪車クラス」を設立し、より多様な技術挑戦の場を提供していきます。

Honda エコ マイレージ チャレンジ 2026 国内開催スケジュール

開催日程	大会名	開催会場
5月30日（土）	Honda エコ マイレージ チャレンジ 2026 第17回 もてぎ大会	モビリティリゾートもてぎ 西コース （栃木県）
6月20日（土）	Honda エコ マイレージ チャレンジ 2026 第39回 鈴鹿大会	鈴鹿サーキット 東コース （三重県）
8月1日（土）：練習走行 8月2日（日）：決勝	Honda エコ マイレージ チャレンジ 2026 第41回 九州大会	HSR九州 サーキットコース （熊本県）
10月24日（土）：練習走行 10月25日（日）：決勝	本田宗一郎杯 Honda エコ マイレージ チャレンジ 2026 第45回 全国大会	モビリティリゾートもてぎ オーバルコース （栃木県）